

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調査書（平成30年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	美しく住みやすい安心安全なまちプロジェクト（安心安全）		実施期間	H30年度～H34年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	大江山連峰をはじめとする山々には美しい小鳥のさえずりが聞こえ、野田川には鮭が遡上し、田園にはコウノトリが飛来するなど、与謝野町の豊かな自然は、環境に優しい農業の実践、下水道の普及、河川改修など、長年の取り組みの積み重ねによって生み出されている。しかしながら、担い手不足による管理されていない山林、耕作放棄地、鳥獣被害の増加や、核家族化と人口減少に伴う空き家の増加問題、加えて道路・水道管路などのライフラインの老朽化など近い将来大きな問題になると懸念されている。また、近年の異常気象による自然災害や、件数は少ないものの犯罪の被害はなくなり、より安心安全な生活環境の構築が求められている。さらに、全ての方が自由に活動できるため、自分で車の運転が出来ず自家用の交通手段がないなどの移動に制約のある方への支援など、地域を越えた交流を進めていく必要がある。これらの課題解決には地道な取り組みが大切なことから、行政をはじめ、このまちに関わるすべての人が強い当事者意識を持ち、身近なことからできることを実践していくことが求められている。							
プロジェクトの目的及び概要	住民の定住を支える「美しく住みやすい安心安全なまちプロジェクト」を目指して、本町の特性を活かした都市計画の推進、潤いのある暮らしの環境整備、交通ネットワークや情報基盤、上下水道等の整備、安心・安全な地域づくりに取り組む。							
	総事業費（千円）	62,675	本年度事業費（千円）	62,675	交付金額（千円）	18,000		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	消防団活動体制支援事業	交付対象事業	防災行政無線システム変更、備品購入、消防団詰所整備			防災行政無線システム変更、消火栓4基、ホース格納箱10台、消防ホース54本購入、詰所屋根修繕		
	生活排水等処理対策事業	交付対象事業	浄化槽の維持管理への補助			浄化槽維持管理補助金76件		
	阿蘇霊照苑管理運営事業	交付対象事業	阿蘇霊照苑の整備			火葬炉の整備		
	有害鳥獣対策事業	交付対象事業	獣害を防ぐためのフェンス整備			有害鳥獣の捕獲・処理 大型獣1,032頭、小型鳥獣152頭		
	浸水対策事業	交付対象事業	浸水対策として雨水調整池ポンプ、河川整備を実施			雨水調整池ポンプ、河川整備を実施		
	有線テレビ施設整備事業	交付対象事業	有線テレビの引き込み工事委託			引き込み件数107件		
	救命救急資機材整備事業	交付対象事業	町内の公共施設にAEDの整備			AED13台を購入設置		
	上限片道200円レール事業	関連事業	65歳以上の方を対象とした丹鉄上限片道200円レール事業			利用人数：4,142人		
	消防施設整備事業	関連事業	消防水利、化学ポンプ車等の整備			防火水槽1基、消火栓3基を設置。宮津与謝消防組合が購入する化学ポンプ車に対する負担金。		
	最終処分場施設整備事業	関連事業	最終処分場の整備			ポンプ取替等の修繕		
	野田川衛生プラント整備事業	関連事業	野田川衛生プラントの整備			衛生プラントの施設整備機器の部品交換、整備工事を実施		
住民協働事業	災害・危機管理対応事業	交付対象事業	災害備蓄品、災害ボランティアセンター開設補助			災害備蓄品の購入、災害ボランティアセンターへ補助金		
	環境活動推進事業	交付対象事業	環境保全団体への補助			環境保全団体への補助金 190千円		
	生ごみ処理容器設置事業	関連事業	生ごみ処理機購入に対する補助			補助金件数12件		
	阿蘇海等環境づくり事業	関連事業	環境イベントの実施			阿蘇海浄化の啓発や清掃、河川の水質検査、流域の環境整備の推進を図るため、側溝清掃作業支援、環境保全啓発事業を実施		
	高齢者運転免許証自主返納支援事業	交付対象事業	高齢者運転免許証自主返納者支援事業			高齢者運転免許証自主返納者支援事業（支援物品）87件		
住民が取り組む事業	子ども見守り隊事業	関連事業	地域住民が小学校単位で下校時の見守り活動を行う			全小学校で実施 隊員1,084人		
成果指標①	成果指標の目標数値	年間火災件数 H29：3件⇒H33：0件			成果指標の実績値（31年3月31日時点）	平成30年度 5件		
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	平成30年度は、前年度に比べ2件火災件数が増加しており、防火啓発等の強化が必要と考えられる。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）			—	（時期）	—	
成果指標②	成果指標の目標数値	阿蘇海の水質（COD）の向上 H29：3.0mg/l⇒H34：3.0mg/l 以下			成果指標の実績値（31年3月31日時点）	平成30年度 4.2mg/l		
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	平成29年度の4.4mg/lと比較してわずかに改善されているが、閉鎖性水域である阿蘇海の水質改善には、抜本的な対策が必要となるため、今後の課題となっている。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）			—	（時期）	—	
成果指標③	成果指標の目標数値	野田川の水質（BOD）の向上 H29：0.5mg/l⇒H34：3.0mg/l 以下			成果指標の実績値（31年3月31日時点）	平成30年度 0.5mg/l		
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	平成27年度に開始した「ちょこボラ」や、学生によるボランティアサークルの清掃活動等で環境美化が推進されたことによる。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	（理由）			—	（時期）	—	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	全国各地で大規模な風水害が発生しており、与謝野町でも風水害を想定した防災訓練を行い住民も防災に関する意識は高くなってきている。また、消防団による予防活動を行ってきたが、火災件数の減少には繋がらなかった。今後も更なる防災訓練の充実・広報活動等に努めていく必要がある。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。							
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	交付対象事業で安心・安全な環境整備を行い、関連事業では住民が主体となるごみの減量化や清掃活動などの事業を実施することで住民の環境保全への意識向上に効果があった。						
	府と市町村等との連携に資する成果							
	住民の自治意識を高める成果	避難所等、災害時に住民の利用が想定される場所の整備を行い、住民が自ら避難行動を行う際に一助となることが期待できる。						
	リーディング・モデル成果							
	広域的波及成果							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名：与謝野町

	行財政改革に資する成果	消防施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。